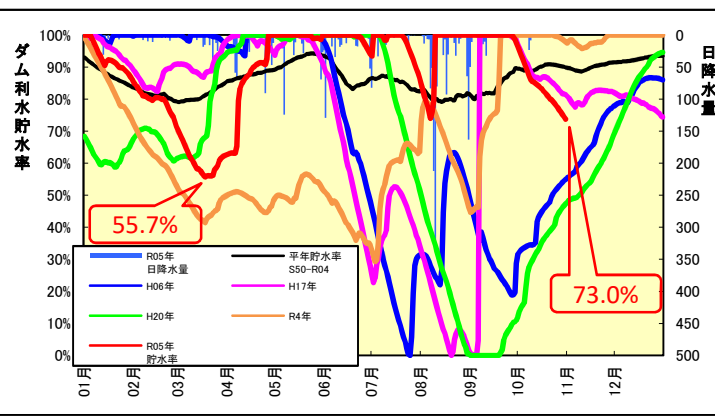


早明浦ダム  
ホームページ  
↑スマホはこちらから

## 令和5年を振り返って

早明浦ダムの令和5年を振り返ってみると、昨年末から続いた少雨傾向から、3月中旬には貯水率が60%を下回り、冬渇水に見舞われました。これを受け、吉野川本川では第一次取水制限を行いました。その後、貯水率は低下を続け、3月18日には今年最低である55.7%を記録しました。その後3月下旬から4月上旬の降雨により、貯水率が回復し、4月10日には、取水制限が全面解除となりました。一方、洪水の面では、台風6号に起因する降雨により、総雨量760mmを観測し、一時は計画規模を超える洪水の恐れがあり「緊急放流」の可能性が懸念されました。幸いダムへの流入量が予測より減少したため緊急放流は回避されました。

ダム上流域の9〜10月の降水量は平年と比べて半分以下となっており、11月1日現在の貯水率は73.0%まで減少しています。今後も、まとまった雨は予想されていないことから、この渇水傾向は当面、続くものと考えられます。引き続き安定した用水供給のため、関係機関と連携してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。



### ★★SDGsの取組み紹介(7)★★



台風や前線による出水が起こるとダム貯水池に流木が流れ込みます。これらの流木は作業船等で回収してチップに加工します。チップはマルチング材として、帰全山公園の遊歩道や、展望台の花壇に敷く等活用されています。



また、ダムには流木だけでなく川の上流から土砂が流入します。貯水池内に堆積した土砂は、ダムに貯水できる水の量を減少させる等ダム管理へ影響することから、定期的に除去しています。除去した土砂は林道の路盤材に利用されています。



流木回収状況



堆砂除去状況

### 放流設備等点検整備

早明浦ダムに設置されている放流設備等は、ダム貯留水の取水・放流、流量調節等を目的に設置される設備であり、洪水調節、流水の正常な機能の維持、上水道、かんがい等の各種用水補給等において重要な役割を担う設備です。

中でも洪水調節用ゲートは、日頃、ほとんど待機状態で運転されていない設備が多い一方、洪水時には確実に機能しなければなりません。

現在、非洪水期を迎え、洪水の発生、河川流量も減少するこの時期に、ダムに必要な機能を確保しつつ、放流設備等の部品交換、塗装を行う工事を実施しています。



### 森の健康診断を実施しました！

11月14日に大川村(白滝の里)にある山林で上下流交流会(下草刈り)、森の健康診断(植生調査)を実施しました。森の健康診断では、ダム下流域の方々と協働で、人工林において、スギやヒノキの混み具合、落ち葉や土壌の厚さなどを観測・計測し、森林環境が概ね健全であることを確認しました。



### 地震防災訓練

早明浦ダムでは、年に一度、大規模地震に備え地震防災訓練を行っています。今年「津波防災の日」である11月10日に実施しました。当日は、南海トラフ地震が起こった場合を想定し、施設の点検、関係機関への情報共有等の訓練を、実践しながら緊張感を持って行いました。

# ☆☆ 再生事業からのお知らせ ☆☆

## 【早明浦ダム再生事業上流仮締切設備工事の進捗状況】

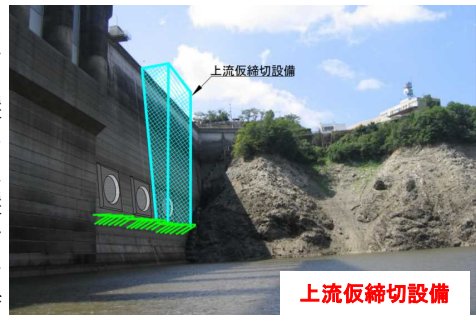
早明浦ダム再生事業の工事は、早明浦ダムの利水運用に影響しないように、(工事のために貯水位を下げずに)通常の貯水池運用を行いながら工事を進める必要があります。そのため、ダム堤体に孔をあけた際に、貯めた水が下流側へ漏れないように、本工事でダム堤体に孔をあける箇所の上流側に箱型の鋼材を取付け、箱型鋼材と堤体の間の水を抜き、水が無い状態にした後、ダム堤体に孔をあけます。

ダム上流側に箱型鋼材を取り付ける作業には、深い水深で長時間の潜水作業ができる飽和潜水が必要となりますので、飽和潜水のための潜水土加圧室や、潜水土の体調管理をするシステム室を貯水池上の台船に設置しました。

現在は、浅い位置での潜水作業のため空気潜水により、堤体上流面の凹凸を計測するための架台や測定装置の設置作業を行っています。



飽和潜水台船



上流仮締切設備

飽和潜水とは、「窒素酔い」を防ぐために、船上の加圧室に窒素の代わりにヘリウムガスと酸素の混合ガスを入れ、潜水土を加圧することで混合ガスを体内に取り込み、あらかじめ体内を「飽和状態」にし、加圧室から高圧状態が維持されたカプセルで水深の深い所へ降下する潜水方式です。空気潜水と比べて大深度でも長時間作業が行えるため、また潜水作業後に加圧室で生活することから減圧回数が少なく、安全性が高い潜水です。

空気潜水とは、陸上や船上に設置した圧縮ガス製造装置などから空気を潜水土に供給する潜水方式です。

## 【早明浦ダム再生事業増設洪水吐き工事の進捗状況】

この工事は、放流管を増設するために必要なダム堤体に孔をあける工事、ダムから放流された水の勢いを弱める減勢工の増設、仮設作業構台の設置などを行うものです。



120t & 70t クローラクレーン

仮設作業構台

今年度は、主に早明浦ダム堤頂に大きなクレーンを設置するための仮設作業構台の設置、建設発生土受入地付近の立木の伐採、濁水処理プラントの設置、放流設備の設置箇所の基礎掘削を行います。現在は、仮設作業構台の残りの部分の設置、工事用道路等の造成を行っています。また、11月よりダム右岸下流で、増設放流管の基礎部分の掘削(岩盤上の土砂を掘る作業)を開始しました。

## ★早明浦ダム周辺のいきものたち(8)★

水資源機構では、早明浦ダム周辺の環境調査を実施しています。この調査の中で確認された動物・植物をシリーズで紹介していきます。

○シロバナショウジョウバカマ(ユリ科ショウジョウバカマ属)

シロバナショウジョウバカマは、関東地方以西の本州、四国の谷筋や山野の湿った場所に生息している常緑の多年草です。3月〜4月に10センチほどの白い花を茎先につけます。高さは10〜15センチで、葉はロゼット状(平面的に放射状、円盤状)に広がっています。また、葉は倒披針形で5〜15センチ、波状の細かい鋸歯と光沢があります。

開花時期は、3月〜4月であるため、春が訪れる頃に、白い花を見ることが出来ます。



シロバナショウジョウバカマ